

伊賀の国 柘植の斎王群行

あけぼの学園高校
ともコラボ予定

10月26日
(土)

再び復活!!

いがまち展覧会で、会いましょう!



斎王群行行事、続けたら
いいのに...

つつじ祭の斎王、
よかったで!



そうした声を、たくさん、いただいております。



2017年参加のみなさん

これまでのようなビッグイベントを実施する力はありませんが、
身の丈にあったものなら...と、私たちは考えてきました。

そして、今年5月12日のつつじ祭でのピーアールは、
意外にも!? 柘植地域のみなさんに、「斎王の史実」を広く知らしめる機会となりました。

「へ～、そんなこと(斎王群行)が、昔、この柘植にあったんや!」

- ・ 地域の宝もの(歴史や自然等)に、住民である私たちはどれほど知っているでしょうか・・・。
- その声こそ、私たちは大切にしていかなければならないものだと思います。

このたびは、いがまち住民のみなさんの前で、ご覧いただきます。 (雨天時は中止)
会場はいがまち展覧会(駐車場)、あけぼの学園高校生が登場して下さいます!

10月26日、いがまち展覧会の会場で

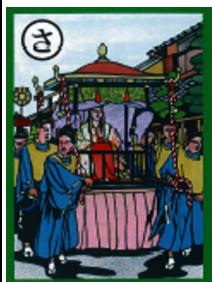
あなたも斎王になってみませんか?

当日は、「顔出しパネル」もありますが、
本格的に着付をしてもらいたいあなたには、
プロが着付をいたします。

※ 5名限定、ぜひ思い出に!ご予約を!



第15回斎王群行(2017年10月9日)
斎王役 岡島優紀子さん



斎王が 一夜の宿と 斎宮芝

『柘植のホント!かるた』より

天皇即位の都度、名代として伊勢神宮に派遣される皇女・斎王の群行路は、都が京都に遷った西暦794年から92年間、柘植「斎宮芝」を通った。

宿泊の仮宮「頓宮」も設けられ、斎宮芝は、旧東海道筋の要衝として重きをなした。

群行は5泊6日で行われ、斎宮芝には、3泊目の仮宮が造営され、斎王を守る約300騎の女官・官人・武士が宿泊したという。